

つつが虫病の予防について (平成22年5月21日更新)

平成22年5月10日 県内でつつが虫病が発生しました！

1 つつが虫病とは

病原体（ツツガムシ病リケッチア）を保有するツツガムシの幼虫の刺咬により経皮感染する急性感染症です。人から人へは感染しません。
 発生の時期 春～初夏と秋～冬に発生

2 症状は

ア 急性に発症し、発熱、発疹、リンパ節腫大などの症状が現れます。

イ ツツガ虫病リケッチアが体内に入ってから5～14日前後（潜伏期）すると、体がだるくなったり食欲不振等に陥り、次いで激しい頭痛、関節痛や悪寒を伴う発熱症状（38～40℃）が現れます。

ウ 発熱から3～5日位で全身に発疹が拡がります（人により異なります。）

エ 初期症状は「風邪」の症状に似ています。



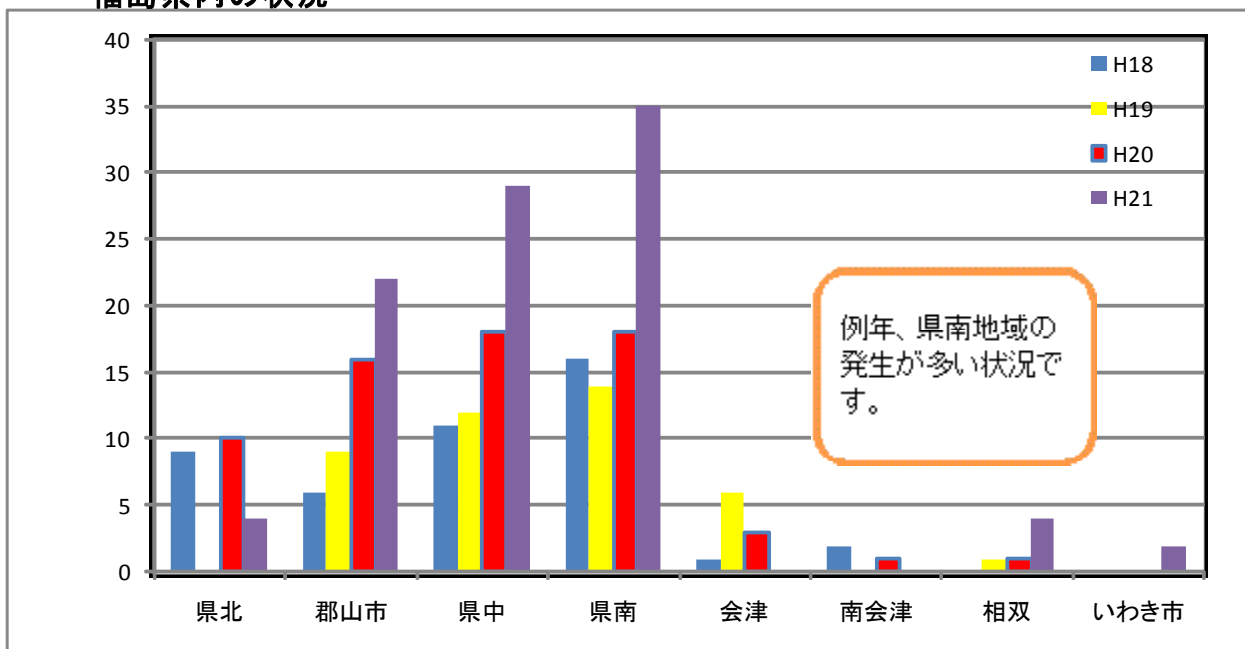
(ツツガムシ)



(刺し口)

3 発生状況

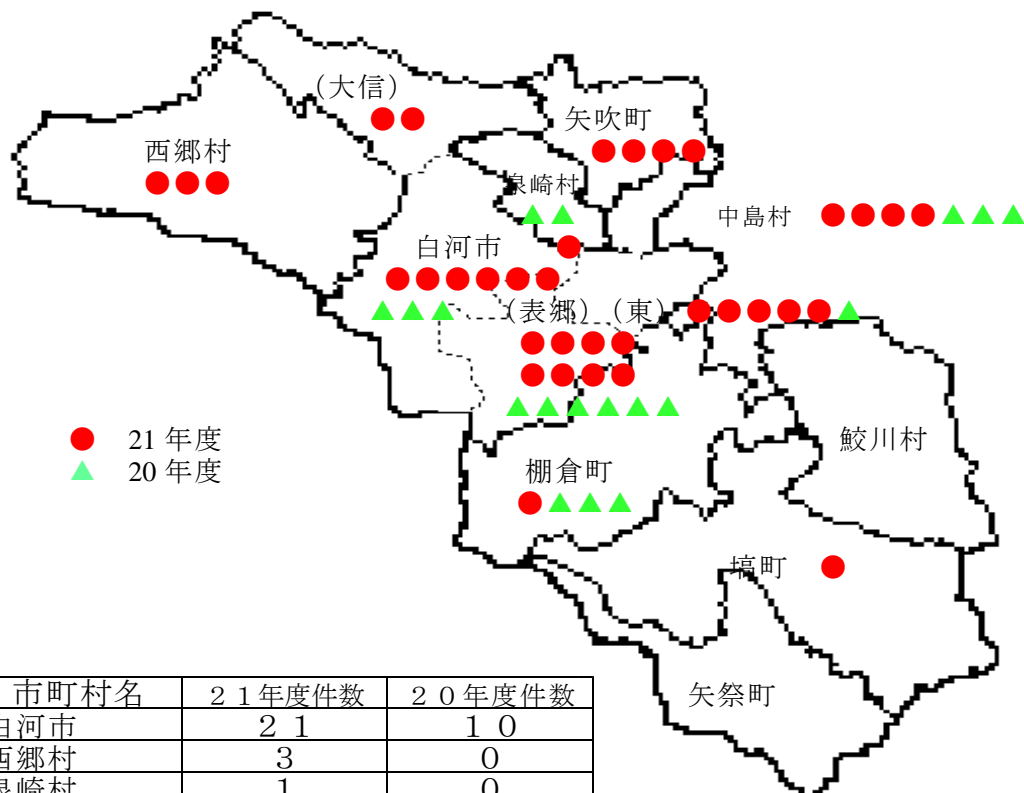
福島県内の状況



ツツガ虫の発生状況（全国、県の状況）

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
全国	460	329	380	296	325	397	382	442	455
福島県	40	40	30	27	38	45	44	67	96
県南地域	6	15	9	10	8	16	14	18	35

県南地域の発生状況（H20年度及びH21年度）



市町村名	21年度件数	20年度件数
白河市	21	10
西郷村	3	0
泉崎村	1	0
中島村	4	3
矢吹町	4	2
棚倉町	1	3
矢祭町	0	0
塙町	1	0
鮫川村	0	0
県南地域計	35	18
福島県総数	96	67

**H21年度は、県南保健所管内で35件の発生があり、県全体の約1/3を占めました。
野外活動の際は、十分に注意してください。**

4 感染場所

主に山林、田畑や公園、河川敷等の草むらなど

5 予防方法

- ア 山林や河川敷等に入る場合は、ゴム長靴・ゴム手袋・長袖・長ズボンを着用し、素肌の露出を避けるようにする。
- イ むやみに地面や草地等には腰を下ろしたり寝ころんだりしない。
- ウ 農作業・森林作業や山菜取り、キノコ取りなどの後は入浴し、着替えをする。

農作業を行った後や山林、河川敷あるいは公園などに入ったあと 1週間前後に上記2の症状がでた場合は早急に医療機関を受診してください。
自己診断は危険です。

島県県南保健所 医療薬事課 感染症予防チーム 電話 0248-22-6405